

東京すくわくプログラム活動報告

2026年4月20日
新宿成子坂愛育園

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉 自然

〈設定理由〉 昨年すくわくプログラムのテーマを自然に設定し自然に触れる機会をとれるよう意識したところ、子どもたちが自然を身近に感じ植物や生き物に興味を持ち積極的にかかわろうとする姿が見られた。今後さらに興味関心を深め、自ら探求したいと思える環境を設定していき五感を育みたいと思ったため。

2. 活動スケジュール

クラスごとに計画をたてる。

自然探し(4月、10月)

園庭にいた昆虫観察(4月～3月)

チューリップを育てる(4月、5月)

動物と触れ合う(11月)

落ち葉拾い(12月～)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

虫かご プランター 球根 移動動物園

4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・自然探し 春と秋に新宿中央公園に草木や昆虫などの自然探しに行く。季節ごとの違いを感じる
- ・昆虫観察 園庭にいたダンゴムシ、カタツムリ、テントウムシを虫かごで観察する
- ・チューリップを育てる 球根を植え班ごとに水をあげ観察する
- ・動物と触れ合う 動物について調べたあと移動動物園で触れ合う
- ・落ち葉拾い 園庭に落ちている落ち葉を集め観察したり制作をする

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

昆虫観察では園庭にいる昆虫だけではなく園外で捕まえた昆虫も観察した。「なんて名前の虫だろう?」「足がたくさんあるね」「なにを食べるのかな」などと話ながら図鑑で調べたり、「〇〇先生にききにいこう!」と虫に詳しい保育者に聞きに行く場面も見られた。カタツムリの飼育では当番を決めなくても気づいた子どもが小まめに水を吹きかけたり、餌が減ると子ども自ら給食室に野菜をもらいにいき食事の様子を観察していた。体が大きくなり卵が産まれると「赤ちゃんまだかな?」と毎日様子を確認し誕生を心待ちにしていた。

4歳児クラスではチューリップを植え、成長する様子を観察した。お当番を決め、水をあげに行くのを楽しみにしていた。園庭遊び中に育っていく様子を観察し芽がでた時には友達同士伝え合い喜んでいた。「何色のチューリップが咲くかな」「もっとお水あげたほうがいいかな」などと話合っていた。



〈振り返り〉

園庭や公園で見つけた植物や昆虫に興味を持って意欲的に取り組むことができた。子どもたちからでてくる「なんだろう」という問いに耳を傾け、次の活動を展開していくと徐々に子ども同士の話合いが活発になっていったように感じた。普段の保育の中でも落ち葉を観察したり、園庭にある木の実を拾い図鑑で調べたり主体的に自然にかかわる姿をみて今後も継続していきたいと思った。